

製品名: オステオポンチン (10W13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15526**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	SPP1
別名	BNSP; Bone sialoprotein 1; bone sialoprotein I; BSPI; early T-lymphocyte activation 1; ETA-1; Nephropontin; OPN; Osteopontin; OSTP; Secreted phosphoprotein 1;
遺伝子 ID	6696.0
SwissProt ID	P10451
免疫原	ヒトオステオポンチンの組み換えタンパク質

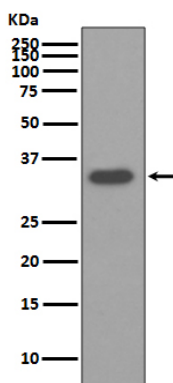
背景

オステオポンチンはハイドロキシアパタイトに強く結合する。石灰化マトリックスの不可欠な部分を形成すると考えられている。細胞-マトリックス相互作用に重要であると考えられる。オステオポンチンファミリーに属する。インテグリン α -V/ β -3 のリガンド。ヒトタンパク質には選択的スプライシングによって4つのアイソフォームが産生される。主要な非コラーゲン性骨タンパク質で、ハイドロキシアパタイトに強く結合する。石灰化マトリックスの不可欠な部分を形成すると考えられる。細胞-マトリックス相互作用に重要であると考えられる。

研究分野

心血管系

画像データ



HepG2 細胞溶解物中のオステオポンチン発現のウエスタンブロット分析。